

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1
道路網の整備と維持管理

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

漁港漁場整備課長 川島 隆寿

電話番号

0852-22-5316

事務事業の名称	広域ネットワークの形成に資する漁港臨港道路整備事業	
目的	(1) 対象	漁港を利用する漁業従事者、漁村住民
	(2) 意図	漁業活動が安全で効率的に行えるようにするとともに、漁村に生活する住民の利便性を高める。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・流通拠点漁港への水産物集積や、消費地への水産物出荷を安全かつ確実に行えるよう漁港臨港道路や漁港関連道を整備。 ・漁村への生活道路としての役割も大きく、漁村生活の利便性を向上させるために、漁港臨港道路や漁港関連道を整備。 上記整備は、農山漁村地域整備交付金（国庫交付金）を活用して行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	漁港関連道の整備率	目標値		85.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	整備済延長/計画総延長	取組目標値						
			実績値	70.0	85.0	98.5			
			達成率	-	100.0	98.5	-	-	%
2	指標名	臨港道路の整備率	目標値		11.1	28.4	45.7	63.0	%
	式・定義	整備済延長/計画総延長	取組目標値						
			実績値	7.6	10.0	20.5			
			達成率	-	90.1	72.2	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	582,463	200,143
うち一般財源 (千円)	29,813	10,371

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・和江漁港の漁港関連道整備事業については、H29年度の完成を目指して予算確保したが、橋梁の基礎工事において想定外の湧水対策等必要となり事業費が増え、工程も遅れたため完成がH30年度となった。H30年度事業により8月頃の全線供用開始を予定。
 ・加茂漁港の臨港道路整備事業については、交付金事業の予算が厳しく、計画通りの予算確保は出来なかったが、終点側の埋め立て工事に必要な予算は確保し工事に着手した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・農山漁村地域整備交付金（内地）の予算が厳しい中、農林水産部内の重点事業として整備してきた和江関連道について、完成が半年程度遅れるものの供用開始の目途が立った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・加茂漁港臨港道路整備事業の予算確保が必要。

②困っている状況が発生している「原因」

・農山漁村地域交付金で実施しており、離島については島根県への配分がH28・29年度と増加したのに対し、H30年度は減少したため。

③原因を解消するための「課題」

・交付金の予算確保とともに、当該交付金で実施している市町村の漁協集落環境整備事業や海岸保全事業（長寿命化対策）との調整が課題。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国に対して予算確保の重点要望を引き続き行う。
 ・農林水にまたがる一括配分という交付金の性質上、配分増がほとんど見込めない状況であるため、予算調整の対象となる海岸保全施設の長寿命化対策（工事）については、補助事業創設又は他の交付金事業で実施可能となるよう制度拡充を国に要望する。